



# 多摩支部会報第62号

2024年7月28日発行

パリ五輪の開催・明大ラグビー部王座奪還

## パリ五輪に、天才現役学生スナイパー「野畑美咲」(3年生)が選出



パリオリンピック2024は、7月24日(水)～8月11日(日)の閉会式まで、19日間にわたり32競技329種目の競技が繰り広げられます。

このパリオリンピックの錚々たる日本代表選手409名(7月19日現在、国外開催の夏季五輪で史上最多の規模)の中に紫紺の姿がある。

その中でも、ひとときわ輝くのは、「体育会現役」から唯一選出された「天才学生スナイパーの」野畑美咲(3年・商)さん。昨年度の全日本選手権では優勝、今年のW杯バクー大会では、自身が持つ日本記録を更新するなど、五輪出場に向け着実にステップアップ

(野畑美咲・戸上隼輔 Meiji Now から) してきた。

卒業生で今回選出された方は、次の通りです。

メダル獲得の誓いを胸に、戦いに挑む。素晴らしい成果を楽しみにしています。

校友の皆様からの応援を宜しくお願いいたします。

(現役) 野畑 美咲 (3年・商) ライフル射撃

(卒業生) 戸上 隼輔 (2024・政経) 卓球

古賀 友太 (2022・商) 競歩

佐藤 恵充 (2024・文) 男子サッカー

濱西 諒 (2023・文) 競歩

石田 吉平 (2023・文) 7人制ラグビー

大岩 義明 (1999・商) 馬術

松本 純弥 (2022・政経) 7人制ラグビー

戸本 一真 (2006・商) 馬術

松元 克央 (2019・政経) 競泳

北島 隆三 (2008・政経) 馬術

松山 陸 (2024・商) 競泳

吉野 樹 (2017・政経) ハンドボール

吉田 直輝 (2019・政経) ローイング

櫻井 睦哉 (2022・商) ハンドボール

高山 俊野 (2017・法) 陸上

(データ: Meiji Now、明スポ)



佐藤恵充(現ヴェルダー・プレーメン)  
(明スポより)



パリ五輪開会式(エッフェル塔で歌うシリーズ・ディオソ)  
(読売新聞オンラインより)

# 地域支部だより

## 立川地域支部



### 明治大学マンドリン倶楽部と立川地域支部

明治大学マンドリン倶楽部立川演奏会も回を重ねること52回目を迎えることになった。その歴史を私なりに見てみると、昭和44年明治大学マンドリン倶楽部の演奏会を招致するために、立川地域支部は創設されることとなる。

創設メ  
市役所  
のとな  
って  
として  
明  
リ  
ン  
倶  
楽  
先  
輩  
が  
立  
だ  
っ  
た  
こ



ンドリン倶楽部を強く結びつけていったと思います。

立川とマンドリン倶楽部の交流が始まると徐々に地域とつながりが出てきます。代表的な例としては、立川女子高校のギターマンドリン部の高校生にマンドリン倶楽部の部員が演奏の指導に行っている時代もありました。

また立川市と姉妹都市のアメリカ、カリフォルニア州サンバーナディノ市からの留学生を招待した歴史もあります。親子3代に渡り演奏会に来られている家族があり、その当時の思い出を語られるお客様もあり、長い歴史の中で立川の演奏会は、みんなの心の中に大きな思い出となっています。

私も支部にはいり、30年が経ちますが創設時のメンバーの方々も健在で今もいろいろなことを教えていただいています。とにかく支部長はじめ先輩たちが強烈なリーダーシップで校友を引っ張っていました。先輩たちは立川をマンドリンの街にしろ！とにかくマンドリンで地域に貢献しろ！みんなを音楽で笑顔にしろ！と発破をかけ、今思えば軍隊式でした！（笑）

そんな演奏会もコロナによりぶっ飛んでしまいました。2020年3月にはポスター、チケットが完成して6月公演に向けて動いていましたが、中止。その後はご存知の通りです。

この4年間で、多くのものを失いました。まずは学生たちです、学校に行けない、部員の勧誘が出来ない、練習で集まらない、演奏会が出来ない、何よりクラブ活動を通じての人間力の成長が妨げられました。支部もそうです。数多くの大切な先輩たちがお亡くなりになりノウハウも失われていきました。お客様ファンの皆様にも4年も経てば演奏会のこと忘れられてしまいました。

そんなとき、私を突き動かすことがありました。コロナになっても毎年、学生達とは開催を信じてミーティングを行っていました。社会全体に人が集まるのが不可能、どうせ無理だろ！の空気が蔓延していましたが学生達は、いつ出来るかわからない演奏会のためにオ

ンバーは立川  
先輩方が中心  
動き、キーマン  
明治大学マンド  
リ  
ン  
倶  
楽  
部  
O  
B  
の  
喜  
古  
川  
に  
お  
住  
ま  
い  
と  
が  
立  
川  
と  
マ

立川をマンドリンの街に！

マンドリンで地域に貢献！

音楽の力でみんなを笑顔に！



オンラインで練習を続けていたのです！学生の行動が私のやる気を復活させてくれました。

2023年6月に4年ぶりに演奏会は復活できましたが、中身は悲惨なものでした。学生たちの部員不足、演奏会の不慣れ、支部もノウハウを忘れてしまっている、何よりマンドリン倶楽部のファンの方々が離れて行ってしまっていた。ということです！

我々はもう一回原点を見つめ直すことにしました！何のためにマンドリン倶楽部の演奏会を行うのか？創設時の先輩方の熱い気持ち、行動の原点回帰を考えつつ、皆でポスター貼りから、パンフレットの配布、販売方法の見直し、OB校友への声掛け、協賛企業の募集等、すべての見直し、改善から始まりました。学生たちも減少した部員数を戻すために勧誘に奔走しました。何とか第52回目は実施できましたが、まだまだ空席が目立ちました。

歴代支部長はじめOBの先輩たちは「石津君、満員にしろよ！」の声が私には聞こえてきます。立川地域支部創設時より受け継いだ「立川をマンドリンの街に！マンドリンで地域に貢献！音楽の力でみんなを笑顔に！」をモットーにこれからも「前へ！」で頑張っていきます！！ 来年2025年は7月5日土曜日に開催します！！



明治大学校友会立川地域支部 支部長 石津智志（平2・商）



## <感動が人を動かし 出逢いが人を変える>

鈴木紘一（日野地域支部、昭43年・商）

一度しかない人生をどう生きるか？ 人それぞれ思いがあると思います。私は仕事や組織での与えられた役割に、自分なりに全力で取り組んできました。そのバックボーンは多くの人々との出逢いであり、スキー・音楽・写真の3つの趣味でした。寄稿コーナー表題に合わせて、ここでは趣味のことを記したいと思います。

スキーは子供の頃から滑っていて、学生時代・社会人になってからそれぞれスキークラブを設立して、今も現役で滑っています。

紺碧の空の下、白銀のキャンパスに自分のシュプールを描く爽快さは何にも勝るものであります。一方、吹雪の中での滑降は大変厳しいものがあります。スキーはいろんな天候の中でグレンデの先の変化を詠みながら、足元の変化に瞬時的に対応する点で仕事と共通することが多いのです。グレンデでの雪上結婚式、ニュージーランドでの山岳ヘリスキー、富士山滑降、志賀高原でのダイヤモンド滑降等は忘れられないシーンです。



仲間との出逢い、強い絆は今も続いています。

音楽とのかかわりは、家庭環境で邦楽・クラシックになじみ、学生時代はクラシック専門の喫茶店に通っていました。社会人になってからは、オペラの魅力に取りつかれ、ずいぶん劇場にも通いました。一方では、歌謡曲やラテン・タンゴ・シャンソンも好きで、いろんな方々との出逢いがありました。同郷の船村徹先生(故人)やイタリアオペラ歌手との出逢い、古賀メロディ・明大マンドリン倶楽部との出逢い、ロサンゼルスでの大正琴コンサート・東日本大震災直後の応援コンサート等も忘れ難い財産です。

(船村徹記念館一栃木県日光市)

写真に関しては、社会人になってからこれまでずいぶん撮影してきました。若い頃は、我が子や近所のお子さん達の撮影が中心でしたが、北海道に赴任していた頃はもっぱら風景や花が対象でした。又、撮り直しのできないオペラの舞台撮影は特に神経を使い勉強になりました。海外でのオーロラの撮影も忘れられない感動でした。現在は、厳しい経営環境の中で頑張っているローカル鉄道を応援するため「撮り鉄」を続けております。(マナーを無視する一部の撮り鉄には喝！！) 撮影先での感動的な風景や思いがけない人との出逢いも宝物になっています。



これからも趣味を活かしながら、豊かな人生を過ごしたいと思う日々です。

～多摩支部の皆様のご寄稿から

大学4年間「体育会空手部」に所属、空手稽古に勤しんできました。

篠崎 裕美（国分寺地域支部 平10・文）

当時の空手部道場は駿河台の明治大学記念館の地下、相撲部道場の隣にありました。そこには応援団や剣道部、ボクシング部などの明治の象徴でもあるバンカラな校風が根強く残る体育会の道場や部室が多くあり、至る所から応援団や体育会の掛け声、汗くさい匂いなど、明治の体育会気質を肌で感じる事ができる珍しい場所でした。ちょうど1998年に建て替える最後の年を古い記念館道場で過ごしてきました。

華やかな女子大生とは無縁な4年間、私にとってはまさに汗臭い青春時代の思い出です。

今では、あの場所には近代的なりバティタワーが建ち、あの時代錯誤な記念館地下の面影は微塵も感じられず、今どきの若いオシャレな学生が沢山いますが、私たちは、あの伝統ある記念館で古き良き時代を感じながら過ごすことができたことを誇りに思っております。

大学を卒業し、同じ空手部の同期と結婚し、今は、国分寺市内に空手道場「多摩明誠会空手道場」を立ち上げ、市内の公共施設を借りながら、子どもたち、パパママ、祖父母

の皆様方と一緒に空手の稽古に励んでいます。

競技として試合にも出場して上位入賞を目指す子もいますが、勝負だけでなく、生涯にわたって、子どもたち大人たちが、空手を通じて自信を持った人生を歩んでいけるお手伝いができればと思いながら、空手を教えております。

子どもたちは、毎日、元気キラキラした笑顔で空手に来てくれます。子育て中のパパママとは同じ子育ての悩みを共有したり、祖父母の皆様からは、人生の先輩として色々なアドバイスをいただいたりと、

年代を問わずに交流ができること、またそういった居場所としての空手道場を目指して、これからも地域の皆様と関わっていきたいと思っています。

主人の篠崎智司（平10・農）は、明治大学体育会空手部の監督をさせて頂き、夫婦で明治大学から教わった古き良きものを、今の学生や子どもたち、地域の皆様にも伝えていける役割を担っていけるよう精進していきたいです。



明治大学国分寺地域支部  
定時総会・懇親会でのエキ  
シビション



明治大学 空手部



三陸鉄道(堀内駅) <NHK朝ドラ「あまちゃん」ロケ駅>

Photo by K.Suzuki



上毛電気鉄道700型(元京王井の頭線) <北原～樋越>

Photo by K.Suzuki



のと鉄道<里山里海号> (田鶴浜～笠師保) <震災前撮影> Photo by K.Suzuki



大井川鉄道<奥大井湖上～接岨峡温泉>

Photo by K.Suzuki



銚子電鉄3000形<元京王帝都5000系> (海鹿島～君ヶ浜) Photo by K.Suzuki



# 明治大学ラグビー部の 2024 年度スローガンと

## 試合日程

### スローガン

2024 SEASON SLOGAN

奪還

2024 年度の明治大学ラグビー部のスローガンは、“奪還”です。創部 100 周年である昨年度は、あと一つ日本一に届きませんでした。101 年目という新たなスタートとして今一度、チーム全体が目指すところ、最後に成し遂げなければならないことをスローガンに込めました。今季 6 年振りに、日本一を“奪還”するため、歴史と伝統を胸に 1 年間戦っていきます。

(Meiji Now Sports より)

### 活動内容・モットー

大学日本一を目指し、日々活動しております。

またラグビーだけでなく、一人の人間として、成長することをモットーとしております。

(Meiji Now Sports より)

### 2024年度 関東大学対抗戦Aグループ 明治大学 試合日程

試合日	対戦校	開始時間	会場
9/8(日)	青山学院大学	13:00	月寒屋外競技場
9/22(日)	慶應義塾大学	15:00	秩父宮ラグビー場
9/28(土)	日本体育大学	14:00	小田原市城山陸上競技場
10/12(土)	立教大学	14:00	太田市運動公園陸上競技場
11/3(日)	筑波大学	11:30	秩父宮ラグビー場
11/17(日)	帝京大学	14:00	秩父宮ラグビー場
12/1(日)	早稲田大学	14:00	国立競技場



奪還

FL  
TOKI  
TOSHIKAWA

利川 桐生 (3年・大阪桐蔭)

7月8日からの日本代表宮崎合宿に参加する日本代表メンバーに選出。

(明スポ より)

今までも、そしてこれからも。  
明治の今を追い続ける。

# 明大スポーツ 新聞部

公式Instagram

@meisupo\_photo

公式X(旧Twitter)

@meisupo

公式  
YouTube  
⇒ ⇒ ⇒



こちらから！  
定期購読は



明治大学校友会  
多摩支部の皆様へ

明大スポーツ新聞部を  
応援してください

